

13019	学習心理学 I Psychology of Learning I		2年次～ 前期 2単位
担当者	伏見 陽児	履修可能学科	E Pe Pc C W F
		関連資格	
サブタイトル	教え方と子どもの理解1		
授業内容 ・ ねらい	<p>毎日毎日教師は授業をしている。子どもたちがよくわかってくれる場合もあるし、そうでない場合もある。子どもたちが興味をもってくれる場合もあるし、そうでない場合もある。このような自らの経験を生かしながら、また他のすぐれた授業にも学びながら、私たちは教師としての力をつけ、自分の授業づくりを豊かなものにしていかなくてはならない。</p> <p>この講義ではおもに小学校の教科学習場面をとりあげ、当該学習を有効に援助できるような教授条件・教授原則を検討したい。その際、教科学習心理学の実験データの提示にとどまらず、可能な限り授業実践例を紹介していきたい。</p>		
授業計画	おおよそ以下の順に話を進める。 01.はじめに 02.ルール学習の有効性1 03.ルール学習の有効性2 04.ルール学習と例外例 05.VTR視聴 06.学習者が持つル・バー1 07.学習者が持つル・バー2	08.ドヒャー型ストラテジー 09.じわじわ型ストラテジー 10.VTR視聴 11.学習内容と日常生活との結び付き1 12.学習内容と日常生活との結び付き2 13.関連する世界が結びつくとき・開けるとき 14.まとめ1 15.まとめ2	
教科書 参考書	参) 伏見陽児著『心理実験で語る授業づくりのヒント』（北大路書房） 参) 伏見陽児著『教育学部教師の講義日記～「教え方と子どもの理解」の実践～』（星の環会）		
評価方法	ほとんど毎回課されるミニレポートの提出を前提とした上で、学期末テスト成績によって評価する。		
事前準備学習 履修条件等	参考書はあらかじめ購入する必要はない。講義を聴き、内容に興味を持ったなら購入して読んでほしい。		